

なかとんべつ 町議会だより

Volume

219

令和4年7月25日発行



お父さんと一緒にゴールを目指しています！
とっても嬉しそうですね！
子どもたちからは、いつも元気をもらっていますね！

6月25日 こども園運動会

第2回定例会議決内容	3
私たちの一般質問	4
いきいきふるさと常任委員会報告	7
報告事項、議会だより	8
主な質疑及び答弁	9
議会の動き・編集後記	10

第2回定例会



令和4年第2回定例会が、6月7日から3日間の会期で開催され、冒頭の行政報告で小林町長から1点報告がありました。

・新型コロナウイルス感染症について

本年3月27日に町内で16例目となる陽性者が2名確認されてから5月10日までの間で、41名の感染者が公表されたところであります。

感染者や濃厚接触者には自宅待機者支援事業を行い、療養期間及び経過観察期間の生活に不便が生じないように、食料品や衛生用品などの生活に必要な物資の支援を行ってきました。

新型コロナワクチン接種については、新型コロナウイルス感染症の重症化や発症等を予防するため、迅速なワクチンの追加接種を進めているところです。

今後も、ワクチン接種がまだお済でない方で、接種を希望される方が確実にワクチン接種ができるよう、引き続き個別接種ができる体制を維持していきます。

本町は、「コロナ差別0（ゼロ）の町」を掲げており、3月から4月にかけて感染者が多く確認された時にも、町民の皆様におかれましては、冷静な対応をしていただき感謝を申し上げます。

教育長の教育行政報告でも1点の報告がありました。

・令和4年度「ハワイ語学研修」事業の中止について

海外渡航に対するハードルが下がったところですが、出発前にPCR検査の全員実施。帰国後、7日間の自宅待機が課せられており、実施すると17日間要することがわかりました。

その上で、参加意向を行った結果、明確に参加意向を示したのは約37%でした。

教育委員会、小学校と中学校の三者による実行委員会で協議した結果、残念ながら本年度の実施を見送ることとしました。

一般質問では、通告順に4議員が質問を行いました。

報告では、令和3年度一般会計予算及び令和3年度下水道事業特別会計予算を令和4年度に繰り越して使う「繰越明許費繰越計算書」のほか、町が資本金を出資している「有限会社中頓別振興公社」の令和3年度経営状況が報告されました。

町長から提案された、人権擁護委員候補者の諮問2件、監査委員の選任同意1件、町税条例及び国民健康保険税条例の一部改正、一般会計補正予算に伴う専決処分の承認3件と、条例改正及び補正予算を含む9議案を原案可決し、選挙管理委員及び補充員の選挙を実施し会期を1日残して8日に閉会しました。



第2回定例会で 決まりました



議決内容

- 諮問第1号 人権擁護委員候補者に対する意見 石井英正氏（再任）

○諮問第2号 人権擁護委員候補者に対する意見 藤田淳磨氏（再任）

諮問第1号、第2号は、任期満了に伴い、町長が推薦する人権擁護委員2名について、議会の意見を求められたことに関して、いずれも適任であると答申しました。

（任期3年 令和4年10月1日）
（令和7年9月30日）
- 同意第2号 監査委員の選任同意

監査委員 代蔵 恵三 氏（再任）

任期満了に伴い、代蔵氏の選任に全会一致で同意しました。

（任期4年 令和4年7月9日）
（令和8年7月8日）
- 承認第3号 専決処分の承認（一般会計補正予算 3月22日専決）

歳入歳出に64万1千円を追加し、総額を41億1,707万円に。有害鳥獣捕獲報償費（エゾシカ80頭分）を追加するもの。
- 承認第4号 専決処分の承認（税条例の一部改正 3月31日専決）

地方税法等の改正による、寄附金税額控除関係、法人税関係、固定資産税関係などの特例規定の整備に係る改正。
- 承認第5号 専決処分の承認（国民健康保険税条例の一部改正 3月31日専決）

地方税法等の改正による、国民健康保険税の賦課限度額及び未就学児のいる世帯における均等割額に係る改正。
- 議案第24号 職員の育児休業等に関する条例（一部改正）

人事院規則の改正による、育児休業を取得しやすい勤務環境の整備に係る改正。
- 議案第25号 国民健康保険病院条例（一部改正）

令和4年7月から開始する介護医療院について、新たな任務に加えるとともに医療部における内部局に介護医療院を追加するもの。
- 議案第26号 国民健康保険病院事業の設置等に関する条例（一部改正）

令和4年7月から開始する介護医療院について、病院の附帯事業として介護医療院の名称、位置、定員を追加するもの。
- 議案第27号 北海道市町村総合事務組合規約の変更
- 議案第28号 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更
- 議案第29号 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更

議案27号から29号については、上川中部福祉事務組合の加入に伴い、本案を提出するもの。
- 議案第30号 物品売買契約の締結

○ータリ除雪車購入にかかる契約の締結。
- 議案第31号 一般会計補正予算

歳入歳出に1億7,883万7千円を追加し、総額は44億5,499万3千円に。

歳出の主なものは、マイクロバス車庫新設工事5,311万円、通学用バス及びデマンドバス2,208万円、介護医療院運営事業補助1,022万円、こども園園庭整備3,300万円を追加するもの。
- 議案第32号 国民健康保険病院事業会計補正予算

歳入歳出に3,743万6千円を追加し、総額は6億600万4千円に。

歳出の主なものは介護医療院開設に伴い追加するもの。
- 発議第1号 補聴器購入補助等の改善をはじめ、難聴（児）者への支援拡充を求める意見書
- 発議第2号 森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- 発議第3号 ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

※ ○は原案可決

ここが聞きたい、知りたい

私たちの一般質問

細谷久雄 議員



質問

デジタルディバイド（情報格差）解消への取組について

近年、多くの民間企業でデジタル活用によるDX（デジタルトランスフォーメーション）が急速に進んでいる。しかし、町民の中でも携帯、スマホ、タブレット等モバイル機器を所有して適宜に情報収集をされている方や持っている方も十分に操作できない方については既にデジタルディバイド（情報格差）が発生しているのではないかと想像されます。そこで、町の現状認識と情報格差解消への今後の対処と具体的な取組について伺います。

答 弁 ○小林町長

遅れていた全町のブロードバンド環境整備も昨年度で完了して今年度から供用が始まり、地域間格差の解消が図られる見通しです。学

校でもギガスクール構想に基づく教育環境整備を進めてきています。町内におけるデジタル化の推進は必須の課題であり、町としても行政のデジタル化、町内におけるデジタル化への環境づくりを進めていかなければならないと考えています。

しかし、モバイル機器を持たない方や持っていない方も十分に操作できない方もいることは確かです、今後は改めて高齢者等の現状を踏まえた上で、必要な対策を講じていけるよう検討を進めていきます。

東海林繁幸 議員



質問

一般質問に対する検討の結果について

3月定例議会の一般質問に関する検討結果の次の3項目について、積極的と感じた「検討する」との答弁があり3月が経過した検討の結果、経過を伺いたい。

①危険廃屋解体撤去助成条例の見直し（件）
いつから、助成額を百万円程度にできないか

②除排雪後に歩道へ雪捨て等の不適切な行為に対する対応と高齢者、障がい者に対する支援について（千歳市では玄関前の除雪を無償で支援している）

③高齢者、障がい者に対する介護サポート制度の検討について（介護認定されていない方への掃除、調理等の支援制度）

答 弁 ○小林町長

①現在、解体費用の精査をし、見直しする限度額を検討中である。この制度が利用しやすいものとなるよう、実態に合う助成額の見直しを9月議会に提案し、4月に遡って適用する考えである。

②除排雪後に歩車道へ雪捨てなどの不適切行為に町として罰する制度規定はしないが、このような行為をしないよう関係機関と協議し対応する。高齢者、障がい者に対する除雪支援について、今後検討したい。

③高齢者、障がい者に対する生活サポート支援については、4月より運用を開始している。広報、チラシによる周知はしたが、十分とは言えず依頼する会員、サポートする提供会員数は少なく今後会員確保に積極的な周知対策に努める。

質問

義務教育学校「中頼別学園」の理念について

文部科学省の「新しい時代の学びの環境整備先導的開発事業」に全国二箇所モデルとして本町が採択されたことは快挙である。本町が義務教育学校への意向を検討しているときでよい成果が期待されます。

そこで、次の点を質問いたします。
①本件の実務担当は教育委員会です。しかし、提案の代表者は町長であり、設置者も町長です。この件に対する理事者としての理念と覚悟を伺いたい。
②本件が採択されたのは、私は一つは義務教育学校に「こども園」を位置付けたこと、もう一点は「コミュニティスクール」の発想が根付いていることと考えられますが教育長の考えを伺いたい。

③この件は学校教育を主体としているが、運営には地域性を重視しており、施設環境には社会教育施設との関係も重視している。しかし、「中頓別学園設置協議会」のメンバーにPTAを除き社会教育関係者がいません。学園運営の理念と違うのではないですか。社会教育委員、社会教育主事の存在をどう考えていますか。

答 弁 ○小林町長

①この件については、総合教育会議の場を含め、私の思いも伝え長い時間をかけ田邊前教育長、相座現教育長はじめ関係者とともに考えてきた。

幼少中一貫教育を核とする中頓別学園の構想は、全世代の学びと交流の場を創ろうとするもので、こどもたちが未来に夢と希望を持って様々な困難を乗り越え生き抜くための力を育むよう、この構想実現のため町長として全力で取り組む覚悟である。

答 弁 ○相座教育長

②本町では、中学校の建て替えを機に「義務教育学校中頓別学園」を実現しようとしています。その特徴は、議員考察どおり義務教育学校に「こども園」を位置付けたことにあります。幼児教育は、厚生労働省管轄の「保育所」と文部科学省管轄の「幼稚園」に別れており「幼保一元化」が図られてはいますが実態としては教育内容の連係は希薄となっている。小学校として一からスタートせざるを得ない実態です。

本町は、こども園、小中学校一つずつの環境を優位にいかし一貫した教育が可能であると捉え、小中の接続だけでなく乳児から一貫した教育方針と福祉の連係による中学校卒業までの成長について町が支援していく姿勢を明確に示したものです。文部科学省では一幼少中一貫教育の推進、乳児から老人まで多くの住民が集う地域コミュニティの新たな生涯教育のモデルに資する取り組みで期待できる」と評価されている。既存の社会教育施設と学校の連係により学校を「地域コミュニティ」

としての機能を持たせる考えである。

施設運営には、学校と地域をつなぐために「学校運営協議会」「学校支援地域本部」が必要と考えコミュニティスクールの本旨を具体化する必要を考えている。

③今回の申請は、短期間の準備で十分な内容もあったが、中頓別学園は生涯教育施設機能も有する学校建設にするため、社会教育関係者を「設置協議会」のメンバーに委嘱したい。

高橋憲一議員



質問

「コモンズ形成事業」について

今年度の町長の執行方針の中でコモンズ形成事業について述べられていますので、次の点について伺います。

①一般の町民にとっては耳慣れない言

葉でもあり、町民に説明するとしたらどのように言えばよいかお教えください。

②今回の議案にもコモンズ形成の予算が組まれています。この施設の運営についてどのような形を考えているのかお伺いします。

③今後も似たようなケースが考えられると思いますが、コモンズ形成の観点から取り組まれるのか伺います。

答 弁 ○小林町長

①「コモンズ形成」を日本語にするとしましたら「共助の仕組みづくり」となります。イギリスにおいて住民による自治的に共同牧草地を管理する制度が「コモンズ」であり、この取り組みを参考にし、さらに本町ならではの「共助の仕組みづくり」を目指したいと考えています。

②令和4年度から、町内の共助の仕組みを考えてもらうための福祉団体、NPO、第8期総合計画の7つのアクション、さらに子育てに頑張る女性、高齢者など多岐にわたる町民の皆様と「市街地のよりどころ」づくりとして、近い将来の本格運用を目指していければと考えています。

③空き店舗活用が課題になっている中心市街地にあることを生かしながら、コモンズ形成に努めるための拠点づくりについて旧松田商店を基本に考えた

ところで。

今回の試行をきっかけに全町的な取り組みの一端になればと考えています。空き店舗の活用だけでなく「ライドシェア」や特定地域づくり事業協同組合による「人材確保」のほか、地域福祉の実践である地域生活サポート事業から「全世代型ファミリーサポート」として展開を図るなど、「点」としての取り組みを「面」に広げてコモンズ形成を目指すこととしています。

宮崎 泰宗 議員



質問

今後の感染対策について

中頓別町では、今年2月に町内で新型コロナウイルスの感染が広がる状況となり、前回はその状況も含めて伺ったが、その後も再度感染が拡大し、連

日または毎週のように感染者が確認される状況となっていた。現在はそのような状況か。

感染対策としても有効と思われる防災無線での放送について、難聴状態となる例もあるようだが、その原因や解消状況についてはいかがか。自治体によっては感染が起きた可能性のある施設を防災無線等で速やかに公表し、注意を促しているところもあるようで、本町の対応とは異なるように思うが、そのような取り組みについてはいかがお考えか。

行政施設ではコロナ対策の臨時交付金などを活用した感染を防止するための備品購入も進められており、昨年度は民間事業者に対しても感染対策として飛沫防止設備などの設置に補助が設けられていたが、今年度は実施されないのか。また、4回目のワクチン接種についてはどのように実施されるのか。

答 弁 ○小林町長

中頓別町においては2月以降も3月に15名、4月に10名、5月に3名、5月30日時点で通算41例の感染者が確認されており、5月の感染者が5月19日に療養期間を終えてからは、感染者0の状況となっている。

防災無線の電波は天候や季節など、自然環境の変化による影響を受けやすく、放送が途切れるという事案に対し

では、個別受信機に外部アンテナを設置するなどの対応を行っている。感染状況等の公表については、保健センター及び役場庁舎内で感染が発生したところには、防災無線でお知らせしたところであり、今後も公共施設などでの感染があった場合には、情報提供を行っていきたくと考えている。

民間事業者の感染対策については、町内の商工業者に対し、令和2年度の休業協力・感染リスク低減支援金で56件、令和3年度の感染拡大防止対策を推進するための備品購入で6件、北海道の飲食店に対する補助金など、2年間で感染対策の体制は整えられてきたと考えているが、新たな対策の要望等がある場合には関係者と支援策を検討する。

4回目の新型コロナウイルス接種については、3回目接種から5か月経過した60歳以上の方と18歳から59歳までの基礎疾患があり通院または入院している方を対象とし、中頓別町では7月から個別接種、集団接種を行う予定である。

質問

デマンドバスの導入について

来年10月に宗谷バス天北宗谷岬線の運行が見直されることとなり、浜頓別高校への通学や、中頓別から浜頓別、

音威子府間のデマンド運行を独自に行うため、今定例会では、バス車両3台の購入費用と車庫の建設設置費として総額約8,500万円の補正予算が計上されているが、今後の計画としては現状どの程度まで具体化されているのか。

中頓別、浜頓別2町での共同運行という形になると思うが、実施主体や運行業者、運行時間やそれに伴い必要となるドライバーの人数などの想定についてはいかがか。

通学バスの送迎の範囲や部活動や行事などへの参加に必要な休日の運行、デマンドバスはどのように利用することができるかなど、現在想定しているバスの利用方法についても伺う。

答 弁 ○小林町長

浜頓別町から音威子府村までの区間で運行しているバス路線が見直しされることから、音威子府でのJR接続や浜頓別高校への通学などに必要な移動手段を維持するため、見直し後となる令和5年10月からデマンドバスの運用を開始できるよう調整を進めているところである。

高校通学便とデマンドバスの事業者については、現在町内でスクールバスの運行事業を受託している事業者を運行事業者として見込んでおり、運行事業者が所在する当町が主体的な立場で

報 告 事 項

※ 町が出資する法人等は、毎年度、経営状況を議会に報告しなければなりません。

報告第3号 有限会社中頓別振興公社の経営状況報告

寿レクリエーション施設、一般廃棄物処理施設、鍾乳洞ふれあい公園、国保病院管理清掃、有害鳥獣処理施設業務等を営む同社全体の令和3年度決算状況は次のとおりです。

当期純利益が3,003,113円となりました。

●損益計算結果、貸借対照表

- ・収益合計 82,051,484円
- ・費用合計 78,118,500円
- ・営業利益 3,932,984円
- ・当期純利益 3,003,113円
- ・資産合計 28,574,058円
- ・負債合計 4,922,377円
- ・純資産合計 23,651,681円



有限会社中頓別振興公社

※ 繰越明許費（くりこしめいきよひ）は、予算に計上されているが、年度内に支出が終わらないと見込まれるものについて、予算に定めることにより、翌年度に繰り越して支出することができるものです。

報告第1号 令和3年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

（単位：千円）

事業名	繰越金額
財務会計システム管理事業	264
住民事務事業	2,679
草地整備型公共牧場整備事業	10,500
中頓別弥生線交付金事業	37,828
特別会計繰出金事業	14,800
合 計	66,071

報告第2号 令和3年度下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告

（単位：千円）

事業名	繰越金額
高速ネットワーク通信環境整備推進事業	64,130
合 計	64,130

※ 令和3年度から令和4年度に上記事業予算が繰り越されました。

『日本人としてのアイデンティティ』

最近のウクライナの侵略を思うと、大国の侵略に對して抵抗が続いている。

当然抵抗を続けることにより被害も大きくなり計り知れない人命や財産が奪われていく。それでも屈せず戦うことは何だろうと考えた時、アイデンティティという言葉思い出した。日本語では自己同一性というのだそうだ。

この言葉は青年時代には自分の生きる道を確認できずに思い悩んだ末に作りあげていくもので、それだけ一度確立したらなかなかぶれることはないのではないか？

今まさにウクライナ人としてのアイデンティティを持って祖国ウクライナを守るために必死に戦っている。

さて、歴史的にみて他民族から侵略されたことのない国に生まれ育った私たちにとってアイデンティティという言葉はなかなかなじまないだろうが、もし日本がウクライナと同じ羽目に陥ったら侵略者に対して抵抗する気構えがどれだけあるのだろうかと思う。

戦争はもちろん反対だ。といっても世界秩序に反した国がいつ侵略してくるかわからない。

そんな時、日本人としてどこまで抵抗できるのか考えるいい機会なのかと思う。

（綴人・西浦岩雄）

議員だより ～私の思い～

このコーナーは、それぞれの議員が町づくりや議会活動などについて思いを綴るものです。

議案審議の 主な質疑及び答弁

議案第31号 一般会計補正予算

Q. デマンドバスの絵柄については、町で考えているのか。委託をかけるのか。初めて走るデマンドバスなので、町民やこれから中頓別を背負う中学生、小学生の公募についてお伺いします。
(細谷議員)

A. デマンドバスのデザインに関しては、発注をかける中に費用を盛り込みたいと思っています。浜頓別町と一緒にする事業になるので、相談しながら固めていきたいと思っています。地域の意見を踏まえてに關しましては、浜頓別町とも協議しながら考えていきたいと思っています。
(笹原総務課参事)

Q. 有害鳥獣対策費のエゾシカ405頭の根拠は何でしょうか。
(東海林議員)

A. 有害鳥獣対策費に計上している金額につきましては、国からエゾシカの緊急対策として交付される割当額が確定されましたので、405頭分として今回計上しています。基本的には、町としては500頭を目標にして計上していますが、国から報償費が割り

当てられましたので、歳入歳出同額で計上しています。
(平中産業課長)

Q. 新しい時代の学びの環境整備先導的開発事業委託料は何のことかわかりません。補足説明資料にも内訳が入っていない。議案にない部分を補足するのが補足説明であって、同じことを書いて補足説明資料は無意味なので辞めたほうが良い。委託料の約6百万円という根拠で算定したのか伺います。
(東海林議員)

A. 補足説明資料の作りが雑で申し訳ありません。次回からは、わかりやすい説明資料を作りたいと思っています。委託の部分ですが、国から委託を受けて計画作成にかかる支援を再委託する経費となっております。7百万円を上限に国から補助を受けて実施する事業となります。委託先は、スタジオJです。内容は基本計画ビジュアルイメージの作成、検討委員会、ワークショップ等の支援をお願いしています。
(小林教育次長)

Q. 入札のことについてお伺いします。哺育育成センターの工事がまだ始まっていない。看板も立っていない現状で、本当にこの事業が成り立っていくのか。どこまで進んでいくのか不安の声も聞かれております。今まで入札の経過あったのか。これから入札が行われるのか。事業が形で進んでいくのかお伺いしたいと思います。
(星川議員)

A. 道営公共牧場整備事業は、面整備は個人の入札が終わりましてスタートしておりますが、哺育育成センターは5月末に宗谷総合振興局で入札が行われ不調に終わったと連絡がきております。今後の対応は、北海道で協議中で近々振興局の担当者が今後の方向性について連絡がくるまでの情報しか掴んでいません。
(平中産業課長)

Q. 町民センター、小学校、中学校に空気清浄機相当数入れることになっております。この台数全てが一度に稼働することがあるのか伺います。
(長谷川議員)

A. 新型コロナウイルスの感染流行が長期化して、引き続き感染対策が必要となっている中で、空気清浄機の数がなかったことがありました。各教室、施設の中で1台ずつ使いたいのでこの台数を上げております。
(小林教育次長)



議会の動き

5月

- 2日 議会運営委員会
- 19日 中頓別町商工会通常総会
- 20日 いきいきふるさと常任委員会
- 24日 議会運営委員会
- 26日 中頓別町自衛隊協力会通常総会
- 27日 議会運営委員会
- 30日 中頓別町観光協会通常総会

6月

- 1日 天北地域生活交通確保対策協議会及び稚内音威子府間「命をつなぐ街道」整備促進期成会総会（浜頓別町）
- 2日 全員協議会
- 3日 南宗谷消防組合議会臨時会（枝幸町）
南宗谷衛生施設組合議会臨時会（浜頓別町）
- 7日～9日 第2回定例会
- 14日 北海道町村議会議長会定期総会（札幌市）
- 30日 議会広報編集特別委員会

7月

- 6日 町村議会議員研修会（札幌市）
- 11日 第2回臨時会
いきいきふるさと常任委員会
- 14日 議会広報編集特別委員会



こども園運動会 みんながんばりました！

議会を傍聴しましょう

議会は、町民の暮らしに直結する税や福祉などの身近な問題を議論する大切な場です。

議会では、議会だよりで情報の提供に努めていますが、町政の動きを定例会や各種委員会を実際に傍聴し、自らの目と耳で知ることが大切です。

次の定例会は、9月に招集されます。日程は、議会だより臨時号などでお知らせします。

ホームページで議事録などを公開しています

中頓別町のホームページ

(<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp>)で議会だより、定例会の議事録などを公開しています。

町ホームページから **中頓別町について** ⇒ **中頓別町議会**、又は **行政情報** ⇒ **議会** へ進みご覧ください。

議会日程や傍聴の手続き、請願・陳情などのお問合せは、Tel 6-2244（議会事務局）へ。

※新型コロナウイルスの感染拡大により、傍聴を制限する場合がございますので、予めご了承ください。

発行 中頓別町議会
編集 議会広報編集特別委員会
お問合せ 〒098-5595
北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172番地6
tel (01634) 6-2244 (直通)
fax (01634) 6-1155

編集後記

本号が皆さんの手元に届く頃には、暑い夏になってきている事と思います。最近、真黒に日焼けした子供たちを見る機会が少なくなりました。

6月定例会が6月7日に招集されました。修正予算並びに条例議案が提案され、議案質疑及び一般質問が活発に行われました。

自然災害が報じられると、人間の無力さを痛感させられます。近年の集中豪雨は土砂災害を引き起こし、生命・財産を奪うことも多く、災害は自然現象であり、それ自体を無くすることはできませんが、普段からの備えと被害が出た場合の迅速な対応が不可欠です。「安心、安全なまち」を造って行くため議会としても、一層尽力していく決意であります。

議会だよりは堅苦しいイメージがありますが、誰にでもわかりやすく、親しみやすい議会だよりを目指した編集に力を入れていきたいと思っています。また、若い世代の方にも議会の活動に興味を持っていただけるように、ホームページでも情報を発信し「議会の見える化」を進めていけるよう、調査・研究を進めてまいります。

今後とも町民の皆様への情報発信ツールの一つであることを自覚し発行してまいりますので、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。

議会広報編集特別委員会（細）